

東京国立博物館

東京国立博物館 盲学校のためのスクールプログラムは、児童・生徒のみなさんが日本と東洋の伝統文化に触れ、歴史を学び、美術を鑑賞するための手助けとなるプログラムです。一人ひとりの児童・生徒の興味やペースに合わせ、対話を通じコミュニケーションを大切にする、きめ細かい対応が特徴です。

盲学校のための

展示室で「ほんもの」と向き合う体験が、より新鮮に、より深いものになるように工夫されており、博物館ならではの学びの醍醐味を感じていただけるはずです。図工・美術・歴史の授業だけでなく、総合的な学習の時間、クラブ活動などにも活用してください。

写真：当館本館に設置されている触知図（本館のさわる地図）

スクールプログラム

スクールプログラムの実施は火～金の平日 10:00～17:00の間（年末年始、ゴールデンウィーク期間を除く）

※本プログラムは、平成22年度文化庁美術館・歴史博物館活動基盤整備支援事業「博物館をみんなのものに～視覚障害児童・生徒へのスクールプログラム～ハンズオンとワークショップを中心に～」の成果の一部です。

TOKYO NATIONAL MUSEUM 2013.4-



東京国立博物館とは

- ◆明治5年(1872)、日本で一番長い歴史を持つ博物館です。
- ◆収蔵品の数は12万件以上、国宝89件、重要文化財648件を含む質・量ともに日本一のコレクションを誇ります。(2023年3月現在)
- ◆日本とアジアの絵画、彫刻、工芸、考古遺物などを常時3000～3500件展示しています。日本とアジアの伝統文化に触れることができる博物館です。
- ◆2023年4月現在、ご覧いただける展示館は全部で4つ。本館(日本の美術)、平成館(日本の考古、特別展)、東洋館(アジアの美術、考古)、法隆寺宝物館(法隆寺献納宝物)。
- ◆展示は特別展(期間により、実施していないときもあります)と、総合文化展があります。
- ◆プログラム実施には、最低でも60分は必要です。十分時間をとって、ご来館ください。

【開館時間】 9:30～17:00(入館は16:30まで)

【休館日】 月曜日(ただし月曜日が祝日または振替休日の場合は開館し、翌火曜日に休館)、年末年始。

【観覧料金】 東京国立博物館の最高の収蔵品を中心に構成された総合文化展を、高校生以下は無料でご覧いただけます。また、学校の教育活動で来館された場合、先生方も無料となります(特別展については別途おたずね下さい)。学校での来館のための先生による下見も無料です(総合文化展のみ。予約不要)。下見当日、正門でお申し出ください。

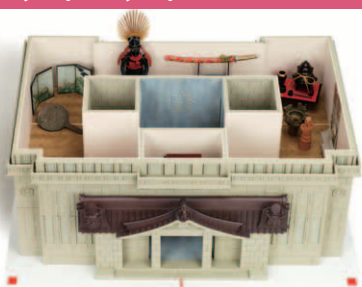
※予告なく変更する場合があります。
最新の情報については、当館ウェブサイトにてご確認ください。

<https://www.tnm.jp>



東京国立博物館 盲学校のためのスクールプログラム コース一覧

ハンズ・オン アクティビティ



A

トーハク探検

◎所要時間：約50分 ◎参加人数：10名程度 ◎会場：盲学校あるいは本館教育普及スペース ◎対象：小学生・中学生・高校生

はじめて東京国立博物館に来館する児童・生徒のためのプログラムです。当館本館の縮尺模型を使いながら、建築空間の把握と、どのような分野・時代の作品が展示されているかの理解をめざします。東京国立博物館の歴史、基本的な見学のマナーについてもお話します。

▶ 展示見学前にご利用ください。これから見学する博物館についての基本情報を知り、期待を高めていただけます。



B

日本の模様・貝合せ

◎所要時間：約50分 参加人数：10名程度 ◎会場：盲学校あるいは本館教育普及スペース ◎対象：小学生・中学生・高校生

日本の伝統文化には、季節の模様、動物の模様、おめでたい模様など、さまざまなデザインがあります。「貝合せ」というゲーム形式を通して、現代の私たちの生活でも目にする機会の多い日本の伝統模様にふれられるプログラムです。

展示室での作品鑑賞プログラム



▶ 児童・生徒一人ひとりの興味に合わせて見学を行います。また学校の授業進捗に合わせて、特にとりあげたい時代やジャンル、テーマなどございましたら、どちらも申し出ください。

C

トーハク・トーク・ツアー

◎所要時間：30～90分 ◎参加人数：10名程度 ◎会場：本館展示室等 ◎対象：小学生・中学生・高校生

博物館スタッフと、作品や展示室について対話をしながら鑑賞します。互いに言葉や体で表現したり、ツールをさわったりすることで芽生える作品への興味や、コミュニケーションの楽しさが主役のプログラムです。

体験型ワークショッププログラム



D

日本の模様でデザインしよう

◎所要時間：15分～ 参加人数：10名程度 ◎会場：本館教育普及スペース、平成館小講堂 ◎対象：小学生・中学生・高校生

日本の伝統模様のスタンプやコラージュなど、シンプルな材料を使った制作プログラムです。リラックスした雰囲気の中で日本や東洋の美術に対する関心を深めます。

上記 A,B は盲学校でも博物館でも実施可能。C,D は博物館でのみ実施可能なプログラムです。A～D を組み合わせて受けることができます。

例：都立 A 盲学校、都立 B 盲学校の場合 ●学校での事前授業（1 時間枠） A（トーハク探検 50 分）
●博物館訪問（2 時間枠） C（トーハク・トーク・ツアー 60 分）+ B（日本の模様・貝合せ 50 分）挨拶、移動時間を含めて 120 分
（平成 24 年度）
※ A,B のツールのみの貸出をすることもできます（要相談）。

スクールプログラムを利用した先生からのコメント

■ 東博本館の模型は生徒に好評でした。特に 1 階と 2 階が取り外して触れることで、階段など立体的に構造を把握でき、よくわかると感激していました。貝合せのさわられる伝統文様は、全盲生だけでなく弱視生にもわかりやすく、文様をさわっただけで、何の文様か言い当てる生徒もいました。熱心に鑑賞指導してくださったボランティアの方々、ありがとうございました。

（東京都立文京盲学校 山本 誠）

スクールプログラムを受けた生徒の感想

◎ 中の模様や絵が触りやすく、点字のカードもあって、とても解りやすかった。弱視や全盲、晴眼者も遊べる楽しいゲームだと思う。

（B. 日本の模様・貝合せ：高校 2 年）

■ 目の不自由な児童・生徒に充実した鑑賞環境を提供していただける施設が少ない中で、東博では、障がいについて理解のある熱心なボランティアの方々が、国宝・重文級の展示品鑑賞プログラムを開発しています。触って感じながら学ぶことができるので、生徒たちは意欲的に鑑賞することができました。事前学習では、ボランティアの方々に来校していただき、「本館模型」で博物館全体の形・建物の構造を分かりやすく説明していただきました。来館前にある程度見通しを持つことができ、新たな発見、一人一人の好奇心を掻き立てる授業になりました。生徒達は、興味と驚きをもって触り、「百聞は一触に如かず」、日本の伝統について自分なりにイメージが持てたようです。

（元・東京都立八王子盲学校 大野 ふみ江）

◎ 博物館の建物の中にてんじしてある物のミニチュアでけんやよろいかぶなどをさわらせてもらいとてもおもしろく建物のこうぞうもだいたいわかりました。色々な物をさわる事ができてとても楽しかったです。

（A. トーハク探検：高校 3 年）



よくある質問

Q スクールプログラムの参加費はいくらですか？

A 原則として、無料です。

Q スクールプログラムは申込制ですか？

A 必ず事前にお申し込みください。受付は、先着順で行っています。

Q 複数のプログラムを受けることができますか？

A 2 ページ目の実施例にもあるように、可能です。ご相談ください。

Q プログラムの実施内容や見学について相談にのってもらえますか？

A 提示されたコース以外に事前授業などのご希望がある場合、下見や事前の打ち合わせをしたい場合、その他スクールプログラムに関する質問・相談は、東京国立博物館ボランティア室(TEL: 03-3822-1111・代表 / Eメール: volunteer_tnm@nich.go.jp)で受け付けています。

Q 館内で食事はとれますか？

A お弁当の場合、平成館ラウンジ(申込不要)、本館地下のドリンクコーナーをご利用いただけます。レストランの場合は、東洋館1階「ホテルオークラ レストラン ゆりの木」か、法隆寺宝物館1階「ホテルオークラ ガーデンテラス」(現在休業中)をご利用ください。ただし、特別展開催期間中などは混雑が予想されます。

Q バリアフリー対応として、どんなサービスがありますか？

A 本館エントランスで、点訳版の博物館総合案内パンフレットを配布しています(事前送付可)。また、正門および各展示館エントランスで、車椅子の貸出を行っています。館内案内のボランティアスタッフは、筆談ボードを持っています。

す。各展示館には車椅子用トイレも設置されています(表慶館をのぞく)。本館、平成館、東洋館、表慶館、法隆寺宝物館にはAEDが、また平成館1階トイレにはオストメイト装置が設置されています。当館ウェブサイトの「バリアフリー情報」ページには、「上野駅からの言葉によるアクセス・マップ」、および構内の「アクセシビリティ・マップ」などが掲載されています。

Q 教科書に載っている作品はいつも見られますか？

A 総合文化展は頻繁に展示替えを行っています。目的の作品がいつも見られるとは限りません。あらかじめ東京国立博物館ウェブサイト調べてからご来館ください。

Q 大型バスで行くことはできますか？

A 事前にボランティア室にご相談ください。

Q 下見に行くことはできますか？

A 教育活動で先生が下見されるための入館は無料です(特別展を除く)。来館時に正門でお申し出ください。また、スタッフと事前に打ち合わせをした場合は、あらかじめボランティア室にご相談ください。

Q 自由見学は、予約が必要ですか？

A 自由見学に際して、特に予約は必要ありません。ご心配なことや相談、確認したいことなどがあれば、当館ウェブサイト「学校団体の利用について」の「お問合せフォーム」からお問い合わせください。

スクールプログラムを受講される場合は、予約が必要です。あらかじめ、ボランティア室にご相談ください。

Q 教員向けの情報はありますか？

A 学校の先生方に向けた研修会、ダウンロードできるワークシートなどの情報をご用意しています。詳細は、ウェブサイト <https://www.tnm.jp> をご覧ください。

スクールプログラム 来館までの手続き

1

電話連絡
・相談

学校名、実施希望日、時間、人数、学習内容、連絡先、担当の先生などをお知らせください。博物館をどのように利用したいか、お聞かせください。おすすめのスクールプログラムを提案します。また、すでにコースが決まりの場合は、実施できるかどうか、スケジュールの確認をします。

2

書類の提出

ご来館の3週間前までに、スクールプログラム申込書をFAXしてください。(裏面の書式をコピーしてご利用ください)

3

博物館から
確認の連絡

ボランティア室から当日の入館方法、集合場所などの連絡をいたします。学校での学習内容、生徒の興味、見え方などを聞かせていただくと、当日、より細かな対応ができます。

4

「参加証」
受け取り

スクールプログラムの参加証をFAXでお送りします。集合場所、集合時間などが書いてありますので、ご確認の上、当日お持ちください。

5

当日

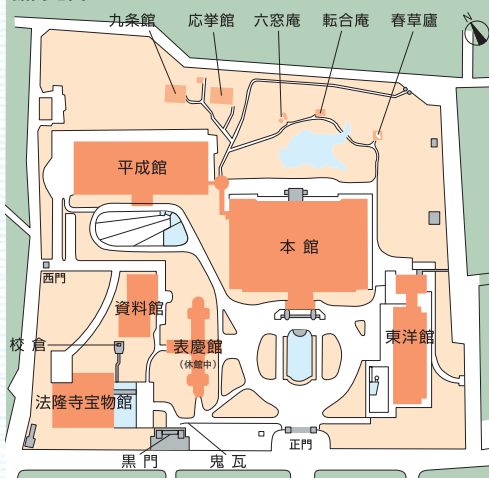
当日の欠席、人数変更、到着の遅延などありましたら、お知らせください。ご来館の際、参加証・障がい者手帳などをお持ちください。

6

後日

スクールプログラム受講後のご意見、ご感想を、ぜひお聞かせください。今後のプログラムの参考にさせていただきます。

館内地図



周辺地図



※視覚障がいをお持ちの方のための「上野駅からの言葉によるアクセス・マップ」、および博物館構内の「アクセシビリティ・マップ」は、ウェブサイトをご覧ください。

東博盲学校のためのスクールプログラム申込書

東京国立博物館 ボランティア室 宛

年 月 日

TEL : 03-3822-1111 (代表) FAX : 03-3822-3010 (FAX 専用)

来館日時 月 日 曜日 * 火～金の平日、10:00～17:00	入館時間 時 分
	プログラム開始時間 時 分
	退館時間 時 分
学校名 (ふりがな)	学年 年
先生の名前 (ふりがな) 先生	
住所 (〒 -)	
電話番号	FAX 番号
人数 生徒 人 + 引率教員 人 + その他 人 = 合計 人	

ツールの貸出や、東京近郊の場合は、学校でのプログラム実施も可能です。
ご相談ください。

学校で実施を希望する場合の希望日時 月 日 曜日
開始時間 時 分 / 終了時間 時 分



■ スクールプログラムコース (全4コースの中から選び、右欄に○をつけてください)		博物館で実施	学校で実施
ハンズ・オン アクティビティ	[A] トーハク探検		
	[B] 日本の模様・貝合せ		
展示室での作品鑑賞プログラム	[C] トーハク・トーク・ツアー		
体験型ワークショッププログラム	[D] 日本の模様でデザインしよう		

■ ご希望	☐ 特別展の見学
	☐ 事前打ち合わせ (月 日 時 分～)
	☐ その他特記事項 ()

■ スクールプログラムの参加の目的	1. 遠足・社会科見学
	2. 修学旅行
	3. 各教科の学習 (科目:)
	4. 博物館訪問の事前授業
	4. クラブ活動 (部)
	5. その他 ()

* 下見にはお申し込みの必要はありません。正門で手続きの上、ご入館ください。
* 枠内のみご記入をお願いします。
* 電話でスケジュールを確認したうえで、ご来館の3週間前までに、FAXにてお申し込みください。

東京国立博物館
e-mail:
volunteer_tnm@nich.go.jp
TEL: 03-3822-1111
〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9